

事務事業名	市有自動車購入・台帳管理事務				担当	総務部 財政課 管財係			
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり				増補版施策名			
施策名	4	健全な財政運営				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ			
法令根拠						☒ 単年度繰返（開始年度 昭和56 年度～）			
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1総務管理費	5財産管理費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	公用車の一括購入事務を行う。購入・廃車以外に譲与等を含めた公用車の台帳を作成・管理する。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 当年度の購入車両について、一括して納入業者、納入車の選定、納車までの入札の実施 購入・廃車・譲与等を含めた公用車の台帳の管理 2年度計画 当年度の購入車両について、一括して納入業者、納入車の選定、納車までの入札の実施 購入・廃車・譲与等を含めた公用車の台帳の管理				⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
				名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2 年度(見込)
				ア 購入した公用車台数	台	6	7	6	6	6
				イ 廃車した公用車台数	台	9	14	6	9	9
				ウ 公用車台帳登録台数	台	226	220	220	220	220
				エ						
				オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 公用車。ただし、一括購入に向かない特殊車両は除く				⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
				名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2 年度(見込)
				ア 購入車両台数	台	6	7	6	6	6
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 一括購入することにより、事務の簡素化、購入経費の削減を図る。				⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
				名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2 年度(見込)
				ア 安価に購入できた台数	台	6	7	6	6	6
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 事務の簡素化、経費の削減。 (事業費の実績は契約金額合計、見込みは各課からの予算額合計を参照)				⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
				名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2 年度(見込)
				ア 経費節減につながった割合	%	100	100	100	100	100
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
(2) 総事業費の推移					単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2 年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	7,479	12,415	9,185	8,100	8,100	
			事業費計 (A)	千円	7,479	12,415	9,185	8,100	8,100	
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	2	2	
			延べ業務時間	時間	168	182	184	397	397	
			人件費計 (B)	千円	698	755	767	1,605	1,605	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	8,177	13,170	9,952	9,705	9,705	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。		一括購入することで、事務の簡素化、購入費の軽減を図るため。								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？										
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？										